

米ワシントン DC の安全保障分野専門シンクタンク 若手研究者 11 名が来日 KAKEHASHI Project 9 月 29 日(日)～10 月 5 日(土)

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、日本政府(外務省)が推進する“KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-(北米地域との青少年交流)の一環として、2013 年度から計 4,600 名の日米間の青少年交流(日本人青少年の米国への派遣/米国人青少年の日本への招聘)を実施しています。

本事業の一環で、9 月 29 日(日)から 10 月 5 日(土)にかけて、米国ワシントン DC に拠点を置く安全保障分野を専門とするシンクタンク「Center for a New American Security (CNAS)」より、若手研究者 11 名が来日します。外務省等を訪問するほか、企業見学、京都での文化遺産見学・日本文化体験等を通じて、日本の魅力についての理解を深めます。



■ Center for a New American Security (CNAS) について

ワシントン DC に拠点を置くシンクタンク。米国の安全保障と防衛政策の研究を専門とする。2007 年にミシェル・フルールノアとカート・キャンベルが共同で設立。約 50 名の研究者・フェロー等が所属している。主要な研究者は、ロバート・カプラン、パトリック・クロニン。まだ新しく小規模なシンクタンクだが、国防総省等、米国の政権中枢に人材を送り込み、大きな影響力を持っている。

■ 来日する研究者について

CNAS が主催する「次世代安全保障プログラム」参加研究者及び実務者が主体。同プログラムは、米国の安全保障の将来を担う超党派の若手リーダーが、安全保障分野の課題について共通理解を醸成することを目的として議論と研究を行う 1 年間の事業で、2009 年より実施されている。



5 月に関西国際センターで落語などを体験した大学生(左)／帯広柏葉高校を訪問した高校生(右)

“KAKEHASHI Project -The Bridge for Tomorrow-(北米地域との青少年交流)により、5 月・7 月に 911 名の米国の中学生・高校生・大学生・大学院生が来日しました。活動の様子や感謝の言葉などをHPIに掲載しています。

<http://www.jpff.go.jp/j/intel/youth/index.html>

お問い合わせ： 青少年交流室 担当：古屋、大西
電話：03-5369-6022

E-mail: Masamichi_Furuya@jpff.go.jp / Makoto_Ohnishi@jpff.go.jp